

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		(仮称)新軽井沢学園建設準備				所管	教育委員会 学務課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成					[事業開始] 平成 9 年度		
		[小 柱] (2)子どもが、自らたくましく生きられる教育の推進					[終了予定] - 年度		
		[施 策] ③ 教育環境の整備[70]							
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区立少年自然の家条例					
	事業対象	区立学校児童生徒、社会教育登録団体、区内在住・在勤者							
	事業目的	子どもたちの豊かな人間性の育成の場として、また、社会教育団体や一般区民が自然の中で様々な活動が体験できる校外施設の整備を推進する。							
事業内容	(1)「校外施設等あり方検討会」において、校外施設及び社会教育施設としての現状と課題を分析し、今後のあり方を含めた基本的な方向性を検討する。 (2)建設予定地や参考施設の視察、関係機関との打合せを実施する。								
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	検討会実施回数	(回)	-	3	0	2		
	成果指標								
	決算額	(単位：千円)			156	67	22		
	事務事業コスト	(単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			2,700	3,204	3,835	
			物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			156	67	22	
			その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0	
			総経費			2,856	3,271	3,857	
	財源項目	(単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
			その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源 (区負担額)				2,856	3,271	3,857			
前年度から改善した事項	校外施設等あり方検討会を開催し、校外学習環境の整備方針の検討を行った。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	区立学校の移動教室は、少年自然の家霧ヶ峰学園で実施しているが、希望時期や単独校での実施ができず、第2の校外施設へのニーズに大きな変化はない。						
	効率性	3	関係機関との打合せは、遠隔地のため電話連絡を中心に行い、出張回数の削減に努めた。						
	手段の適切性	3	教育委員会内に校外施設等あり方検討会を設置して検討している。						
	目的達成度	3	校外学習に必要な施設環境と活動について検討した。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		
(仮称)新軽井沢学園の建設には莫大な費用と運営費が必要となるため、児童生徒の将来推計と既存施設の少年自然の家霧ヶ峰学園を考慮しながら検討していく。						維持			